

2025 富岡西高校で身につけるべき「科学的思考力」

HRNO()

NAME()

SSH 目標	項 目	内 容	評価段階	6 月	9 月	1 2 月
共創力 探究力	A 他 者 と 協 働する力	i : 目的を意識したグループワークや話し合いがで きる	1. グループワークはあまり得意ではなく、十分に発言できない。 2. グループで自分の意見発表ができ、他のメンバーの発言を理解し、自分の意見との違いを 理解できる。 3. グループワークの目的を意識して、自分の役割を果たし、目的達成に貢献できる発言がで きる。 4. グループワークの目的達成に向け、質問や提案によって自分とは異なる視点にたった意見 を引き出すことができる。 5. グループワークの目標達成に向け、グループ内の異なる意見を整理・統合し、意見の深化や 発見に導くことができる。			
		ii : 自分と他者の意見を比較・関係づけ、意見をより深 化・発展させられる				
創造力	B 課題理解・ 発見力	i : 設定された課題の条件を的確に把握できる	1. 課題文の内容が十分理解できず、誤解したまま解答することがある。 2. 課題の意図は理解できるが、解答か思いつかないことがある。 3. 課題の意図を理解し、それに沿って、解決までの道筋を予想することができる。 4. 与えられた課題の意図理解のみならず、疑問点などから、自分自身が課題を設定すること ができる。 5. 与えられた課題の意図理解に加え、求められる目的に即して、自分自身が適切な課題を設 定することができる。			
		ii : 解決すべき新しい課題を自ら設定できる				
探究力	C 情報収集 力	i : 目的に応じた適切な方法・道具を利用し、情報を入 手できる	1. 目的などを特に意識せず、手近な、使いやすい手段から情報収集を行っている。 2. 信頼できる手段やリソースを吟味して、国内外を問わず情報収集することができている。 3. インターネット以外の手段を積極的に活用し、信頼性の高い情報を収集している。 4. 目的に応じて、より適切な情報収集の手段やリソースを選択することができる。 5. より適切な情報収集の手段やリソースの使い分けについて、助言することができる。			
探究力	D 情報分析 力	i : 必要な情報を取捨選択し、整理、原因等の分析がで きる	1. 取得した情報を、特に意識することなく受け取っている。 2. 所得した情報を、「シンキングツール」などを用いて、分析することができている。 3. 「シンキングツール」などの分析ツールを複数もち、それぞれの方法の利点と弱点を把握し ている。 4. 複数の分析ツールの中から、目的に応じて、適切なツールを吟味・選択することができる。 5. 自他の情報分析の仕方やツール選択について、評価することができる。			
		ii : 情報の成り立ちや背景を踏まえ、根拠を明らかにし て情報や主張の確かさや有用性を判断できる				
探究力 創造力	E 考察・統合 力	i : これまでの経験や学習によって得た知識や情報を統 合して推測したり、課題について自分の意見や考察 を論理的に組み立てたりできる	1. 情報や経験について、他のこととのつながりを、普段から特に意識はしていない。 2. 複数の情報や経験について、自然と結びつくような関係でとらえることが多い。 3. 複数の情報や経験の関係について、概念をまとめたり,分類したりして常に複数の可能性で とらえることができる。 4. 複数の情報や経験の関係について、複数の可能性を比較・吟味することができている。 5. 複数の情報や経験の関係について、説明を組み立て目的に応じた関係性を導き出すことが できる。			
創造力	F 構成・表現 力	i : 受け手の立場を考え、基本的なルールを守って 正確に伝えられる(書く・話す)	1. 文章を書いたり、話したりすると時、構成や順序をあまり考えていない。 2. 書いたり、話したりする前に、いつもメモなどで組み立てを考えている。 3. 書いたり、話したりする際に、どのような構成や順序があるか、複数の可能性から選択し、 吟味して用いている。 4. 自分の書いた文章や話す組立が、筋道立って一貫していると他人から評価されている。 5. 自分の書いた文章や話す組立を、目的や場に応じて臨機応変にその場で組立直すことがで きる。			
		ii : 適切な形式を用い、構成（論理性）を意識しつ つ、根拠のある表現ができる（書く・話す）				
探究力 共造力	G 自 己 調 整 力	i : 見通しを立てて物事を計画したり、結果やプロセス を振り返って適切に修正・改善したりできる	1. 自分の学習活動について、懸命に取り組む代わりに、十分な振り返りができていない。 2. 自分の学習活動について、いつも振り返って改善点を探している。 3. 事前に立てた研究や学習の計画を基に、実際に行った研究や学習を振り返り、改善点を具 体的に指摘することができる。 4. 自分が考えた改善点を実行に移し、その改善策がどのように効果的であったか、言葉にし て他人に説明することができる。 5. 自分が説明した改善策の効果について、他の事柄に応用したり、他人に助言したりするこ とができる。			

あなたのものごとへの取り組み方

や行動に一番近いと思うものを数字で
記入してください。全く経験・意識した
ことがない/なんのことかわからない
場合は 0 にしてください。

SSH や SS を通して発見したこと。
自分の成長を感じたこと。

6 月

9 月

1 2 月